

講義年月日	2003年10月8日(水)
講演者	植田 英範氏(国土館大学附属図書館第1司書課長)
テーマ	kissによる大学図書館の資料構成の変容について
講義内容	<p><b>序論</b></p> <p>(1)環境の変化(「ユビキタス時代」)</p> <p>情報化 知恵の時代、組織 個人へのパラダイムシフト</p> <p>消費者の傾向 :ビジュアルメディア指向、製造者の傾向 :コストダウン、プロセス短縮</p> <p>(2)21世紀の図書館</p> <p>情報には、蓄積されるもの(ストック)と消費されるもの(フロー)がある。</p> <p>インターネットの情報は後者と思われがちであるが、それが蓄積されることによって、いずれその資料的価値が歴史によって判断されることになる。</p> <p>・これからの大学図書館の使命は、「知的創造活動」を支援することにある。</p> <p><b>本論 国土館大学図書館 統合知識情報サービス"KISS"</b></p> <p>2000年7月 図書館の整備概念「統合学習環境」を発表 さまざまな学習シーンを図書館へ機能統合する。</p> <p>2000年10月 :「i-Lib KISS」の基本計画策定</p> <p>2003年6月 統合知識情報サービスシステム"KISS"発表会 「サイバーライブラリー」として積極的情報発信を図る。</p> <p><b>システム</b></p> <p>・富士通(株) (株)トーコン・システムサービスが開発・納入。</p> <p>・富士通(株)「フルサーチ瞬索」(九州大学の有川教授らが開発した「SIGMA」実装)。</p> <p>高速の自製マルチメディアデータベースと豊富な学外データベースとの 横断検索機能を併せ持つ。</p> <p><b>特徴</b></p> <p>・利用者間の知識情報循環をシステムに組み込み、情報の再利用(修正、応用)によって、情報が絶えずリフレッシュされる。</p> <p>・制作者・管理者の負担を軽減し、情報の変換や変質もないので、簡単容易な情報管理が可能である。</p> <p><b>検索ポータル ("KISS"="Knowledge Integration Service Systems")</b></p> <p>・kiss-WIN(Q&amp;A Windows):図書館のレファレンス、学習・学生生活のQ&amp;Aの履歴をストックするデータベース。利用者のヘルプデスクとして機能。</p> <p>・kiss-DB(Digital Book &amp; Magazines):研究紀要等学内刊行誌紙の全文記事データベース。</p> <p>・kiss-DIC(Digital Dictionaries):"KISS"の利用者が、体験的に収集・作成した学術情報、教育素材、用語解説、学習教材や、それらのテキスト、図表、映像、音声、関連サイトのURL等のデータベース。</p> <p>・kiss-MA(Multimedia Archiving Service):ストリーミング、商用e-learningパッケージ、自製の授業・学習コンテンツ、学内主催の講演会・行事・広報等の記録映像コンテンツ等デジタルAV資料のデータベース。</p> <p><b>結論</b></p> <p>ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーション用ソフト等で作成されたマルチメディア資料は、原情報と共にその機能も再現されなければ、情報の一面しか利用できない。</p> <p>教育の変容によって、今後ますます教材がマルチメディア化する傾向が出ていることに対応し、これまでのデータ加工法とは異なる方法で、情報を蓄積する必要がある。</p>
感想	「IT化という情報技術の進歩によって、大学図書館としてどのような新しいサービスが提供できるのか」工学部御出身の講演者ならではの発想・視点、そしてそれを実際に形にしていける実行力に、たいへん刺激を受けた。大学内において、情報センターと図書館との役割分担については、とく議論になる。発展的な結びつきによって図書館が情報化の核施設となった本事例は、今後の良き手本となる。
配付物	kissによる図書館資料構成の変化」
備考	<p>国土館大学附属図書館 &lt;<a href="http://libw01.kokushikan.ac.jp/">http://libw01.kokushikan.ac.jp/</a>&gt;</p> <p>全私学新聞』、No.1901、平成15年8月13・23日合併号</p> <p>植田英範、渡辺美好 国土館大学附属図書館コア・システム「KISS」について」『大学図書館研究』、No.69、2003.12、p.15-26</p> <p>植田英範「kissで変わる大学図書館」『図書館雑誌』、Vol.98、No.1、2004.1、p.20-22</p>